

新年のごあいさつ

「市民が主役 未来につなぐ元気な尾花沢」

尾花沢市長 結城 裕

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、新しい年をつつがなくお迎えのこととお慶び申し上げます。

私が目指している、市民が主役で豊かな尾花沢市を創るために「みんなが安心して暮らせるまちづくり」、「若者が住み続けられる未来に向けてのまちづくり」、「誰もが魅力を感じるまちづくり」の3本の柱を掲げ、今年も確実に取り組んでいく所存であります。

新年最初の話題として『今やっている事業』を、PRも兼ね紹介させていただきます。初めに、昨年10月から開始した「移動市役所事業」になります。市内の各集落にワンボックスカーで出向き、市役所でしかできなかった各種申請等を車の中で出来るようにしたもので、県内初の試みとなります。さっそく移動市役所を活用し「タクシー券等電子化事業」の手続きをおこなったところ、260名を超える市民の皆様から利用していただきました。さらに、このタクシー券の電子化は支払い時にマイナンバーカードを出していただければ、紙のタクシー券と同様のサービスが簡単に受けられるものであり、東北では初めての事業となります。

また、子育て環境の整備として「地域子育て支援センター事業」を1か所から3か所に増やしたほか、「保育所ICT化推進事業」では保護者と保育園を繋ぐスマートフォンのアプリを9月に導入し、登園情報も瞬時に共有できるなど大

褒好評を得ています。

今年も、このように市民生活に役立つ取り組みを、皆様の声に耳を傾けながら進めてまいります。特に、デジタル技術をうまく使いこなせない方へは移動市役所でサポートするなど、誰一人取り残さない行政サービスの提供を目指していく考えでありますので、なお一層のお力添えをお願い申し上げます。

結びに、年頭にあたり皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。